
マリオ&レイージ1・2・3

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

マリオ&ルイージ1・2・3

【ZPDF】

N8071Y

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

マリオとルイージのゲーム1と2と3の話を書いていきます。
今、マメリア編です

一番田の冒険 プロローグ

スマッシュブーラザーズで逃走中を現在書いているスマッシュです。

今回はマリオ&ルイージRPGで全ての話を書いていきたいと思します。
ではどうぞ、

マメーリア王国からの使者が来ました。

マメばあ「キノコ王国とマメーリア王国の交流のためにきました。
女王からのプレゼントでござります」

ピーチ（何かしら…）

パカツ、ブシュウー

マメばあ「ゲヒヤヒヤヒヤヒヤ…」

ドカドカドカ

ボンッ

「きやははは

ひゅースポ

す〜〜

バタツ

？？？「ゲヒヤヒヤヒヤ…」

空が雷雲があつた。

次の日

？？？「お〜い

？？？？「ん？何キノピオ？」

キノピオ「ルイージさん、臨時コースをみましたか？」

ルイージ「いや見ていないよ。それがどうしたの？」

キノピオ「では、マリオさんに聞いてみます」

家の
中

キノヒホー・マリオわーへん

卷之三

キノピオ顔真つ赤

だつだ――――ドカツ

「ああ、ナリ。ナニ、シテ、アリ。」

キノピオ「マリオさん、ピッピーチ姫が・・・」

「アーニー、何でアーニー？」

レイジ「ぬぬぬ

城では

キッキー

ヒ・リ・カ・ハ・ハ・ハ

てやる!

マリオ「クッパなぜいるんだ!?」
クッパ「それはお前を倒してからだ!」

バトルシーン

マリオ「ウリヤ、ジャンプだ」
クッパ「うおつ。」うちの番だー

ガ～～ピヨン！

マリオ「あぶねー、もう一回攻撃だ!」

エナッ エナッ！

クツバ^一ググツ^二グギ^三エ^四

クツパ「・・・」ピヨン

ケツハ一ツがりこんな事をしている場合ではないぞ！」

„—ף 'ר סע'ר 'ר סע'ר @יְהִי עָמָךְ

ドカドカドカ

ギノビオ・斐わに「んな爆弾声に」

「おまえがいじめられたらどうする？」
「ううん、うるさいなあ！」

クッパ「こんなピーチを捕らえたら我輩の城が壊れてしまうではな

いか。マリオ何とかしろ!「

マリオ、何とかしないでいたれどもね。」

ヨノ。ホリ「モニツクアメニット。田園の便益です!!」

クッパ「ガハハハ、では、そいつを捕まえて声を取り戻すことよ、

マリオ準備しそー！

「わかつたよマメーリアへ行く準備すればいいんだろ?」

fyg

クッパ・マリオ・ルイージ「さや~~~~~」

ドカ———ン

マリオ「準備だよーそれと、出発だー」（前書き）

今からこれを書きながらゲーム マリオ&ルイージRPGをやって
いきます
(言葉を間違えないため)

マリオ「準備だよ！それと、出発だ！」

今の爆発で危機一髪逃れたマリオ準備のためキノコタウンを回って
いた（中庭かもしれない）

キノピオ「あつマリオさん、もうすぐマーリア王国へ出発です
ねーじうざ、置きお付けください」

マリオ「ああ、わかったよ」

キノピオ「マリオさん僕のキノコとつていただけませんか？」

マリオ「おう、取つてやる」ピヨン「取つたよ
キノピオ「ありがとうマリオさん、ついでにこれ持つていって
ださい」

マリオはスーパー キノコをもらつた。

マリオ「ありがとうキノピオ」

キノピオ「ビニールといったのかな？」

マリオ「どうしたの？」

キノピオ「僕の大事なものがどこかにいってしまったんだ、探し
てくれるかな？」

マリオ「探してやるよ！」

1分後

マリオ「あつたぞ！」

キノピオ「ありがとう、これもつていってください

マリオは1UP キノコをもらつた

マリオ「ありがとう」

ノコノコ「どこのクツパ様が行つたのか分かるか？」

マリオ「あつち（だと思つ）」

ノコノコ「そうちか、では失礼」

ルイージ「やあ兄さん、クッパがここに来たよ」

マリオ「ふうん」

ルイージ「クッパは向こうに歩いていったよ」

マリオ「じゃあ行こう!」

?????「マリオどの~」

マリオ「ん? キノじい?」

キキツツツピヨン

キノじい「マリオどの、長旅になるようなのでスーツケースを渡すぞ!」

マリオはスーツケースを手に入れた。

キノじい「それと、100コインじゃ」

マリオは100コインもらった

キノじい「ところでルイージどのも行かれるのですかな?」

ルイージ「いや行かないよ。お迎えだよ!」

キノじい「お迎えですと?なら、わしと同じじやの。では、マリオどの、わしは先に行つておくぞよ!」

?????「マリオ~」

マリオ「あつ!」

クッパ「遅い!なにをしていたのだ!」

マリオ「その辺のキノピオの手助けだよ!」

クッパ「後は我輩のクッパ軍団集合だ!」

ルイージ「じゃあね~」

キノじい「・・・

マリオ・キノピオ・クッパ「・・・」

クッパ「んが~! どこへ行つた!?、お前もクッパ軍団へ入りたいのか?」

ピヨンピヨン

クッパ「んが~! どこへ行つた!?、お前もクッパ軍団へ入りたいのか?」

クッパ「そうかそうか、そんなに入りたいのか！」

ルイージ「えつ！」

キヨロキヨロキヨロ

ルイージ「僕?」

クッパ「そうだお前だ！」

ルイージ「いやいや僕は入りたくないよ」

クツパ「がははは、足を引っ張りそなうだが特別に連れて行つてやる

!

七八

クッパ「逃げるな〜〜〜

ドカッ！

۱۰۷

14. จีน จีน

ウッパ「がまがま、
軍団こ1人増えて一ヶ出発あるぞ!!」

ソロソロ「以上どうぞ」終了。まじめに一人余って

カッペ「河口さん。大臣発言あるの?」

ドリニン

たたたたたたガシツ

カメジエット内部

放送「お~!マリオと緑のひげ~!」

「マリオーなんだ!?」

ルイ・シ - 緑のひげにて 僕のことか・・・

マニラ「モード」

ルイージ「縁のひげつて、縁のひげつて、しくしく」

マリオ「ほら行へぞー！」

ルイージ「うううん・・・」

ノコノコ「ちよつと待てそ」のむ前たちだ！」

マリオ「何？ノコノコ？」

ノコノコ「お前らパスポート持つてあるか？」

マリオ「えーとパスポート、パスポートあつた」

ノコノコ「そうだそれがパスポートだ・・・あれ？写真がない。写真がないとマーリア王国へ入れないぞ！」

マリオ・ルイージ「え～～～」

ノコノコ「しかし大丈夫だ。ここでお前たちの写真を撮ればいい」とだ

ルイージ「いい考えだね」

マリオ「じゃあさつそく撮るわ」

ノコノコ「よし、ではそこのマッシュに乗つてくれ！」

マリオ「乗つたよ！」

ノコノコ「じゃあ縁のひげはその辺にいといてくれ！」

ルイージ「また、縁のひげだつて・・・しくしく」

ノコノコ「撮るぞー！。！おい、じつとしてくれ勝手にポーズをとるんじゃない！いくぞーはい、ポーズ！」カシャッ

マリオ「次はルイージだぞ！」

ルイージ「うん」

ノコノコ「じゃあ撮るぞー！はい、ポーズ！」カシャッ

ノコノコ「よしこれで二人ともパスポートに張つたな。じゃあクッパ様に会いにいきな」

マリオ「ありがとよ」

ノコノコ「うーん、あれがこうで、これがこうで、間違いたら最初からやり直しだ。！、あつマリオ俺だよ俺

マリオ「誰？」

ノコノコ「あの時道を聞いたノコノコだよ。あの時はありがとよ。お礼にこれをやる！」

マリオは「U-Pキノコ」をもらつた
マリオ「ありがとよノコノコ！」

「ノコノコ」「までー！」
「ノコノコ」「までー！」
「ノコノコ」「……。これじゃあ一個も終わらないよ。クッパ様の手
伝いもあるの……。」
「あつマリオ！」

ノコノコ「バトルでこいつを捕まえてくれーまずは踏んでみろ」
『シ! ザカツ!』

ノコノコ「そうだバトル前に踏めば追加攻撃ができるぞ！しかし後ろのひざが当たると一時行動が止まることになるからな！」

マリオ「よし！勝ったぞ！」

「ハニ、ありがとうよ！」ホイ、ホチ、ヒヨウトガ！
ノコノコ「ありがとよやつと終わったよ。ピットはすぐそ」だぞ！

マリオ - ありかひがい ノハハハ

前

ノコノコ「誰だ！ こんな所に箱を置いたのはコレじゃあピットにい
けないぞ！」

ガ
ノ
ジ
「
二
〇
四
三
二
一

リ・シ・ミ・の・箱・カ・

が、ハヤシ・ハリス・ハニム

ノコノコ「あゝあ間違えて持つていかれたな、仕方がない監視役に
でもしよう」

ノコノコ「クッパ様、もつすぐドキノコ王国とマーリーラ王国の国境を超えます」

クッパ「うむ、」苦勞

ルイージ「うわわわわなんだ～～～」

クッパ「どうした何か見えるのか？」

ドカンッ！

ルイージ「あわわわわ」ボムツ

クッパ「どうしたことだ。ムツ～！」

ドドドドッ

？？？「ゲヒヤヒヤヒヤ、」のゲラゲモーナを追いつひつひはー000000年速いわ！」

クッパ「お前がピーチの声を奪つたんだな！？」

ゲラゲモーナ「ゲヒヤヒヤヒヤ、そのとおり！」

マリオ・ルイージ「！！」

ゲラゲモーナ「今からマメリーラ王国を支配しよう」と思つているんだ。ゲラゴビツツーやっておしまー！」ビヨーーーン

クッパ「ンガーーー待てーーー」

ゲラゴビツツ「あはははお前達ではゲラゲモーナ様には追いつかないで、お前達はここでくたばるのだるる」ボンドカツ！

クッパ「グハツ！」

マリオ「クッパ！大丈夫か！」

ルイージ「あれ？兄さん！ゲラゴビツツがいなによー！」

マリオ「まさか！本当にいなー」

ゲラゴビツツ「あははは」

マリオ・ルイージ「うわ～～」

ゲラゴビツツ「まずはお前達から倒してやるわ

バトルモード

マリオ「おつやつジヤンプだ！」ドカツ！

ルイージ「僕も！」ドカツ！

トガツトガツ ボンツ
デラロジツソ「マガツ バワソ

「ビツ」「今度は転がつて攻

マリオ「当たるかー！」 デンジー

ゲラゴンジツ「アガツ一ぬる」などなどともあらうかど、いぬしゃく

ケラーレンジ・アーレンジ・アーレンジ・アーレンジ

ゲラ「ヅツ「あははは

マリオ「待て～～

マリオ・ルイージーわあ～～～

六

次回、チャレンジコツキー ジャンプ！

マリオ「準備だよーそれと、出発だー」（後書き）

今遊び中
テスト期間なのに・・・

トヤルンジー・ミツキュー・ジヤハラー (漫畫)

セヒル、ラスト終わったー

チャレンジ！「ツキヨージャンプ！」

爆発後

？？？「なんだ！？今の爆発は！？」

？？？「大至急調べるのだ！」

？？？「空から謎の流れ星が落ちてきたぞ！」

？？？「墜落したぞ！大至急調べるぞ！」

？？？「大至急！大至急！」

ルイージ「ううん、痛かった。あれ？兄さん？あつ！」
何とマリオは地面にめり込んでいたのだ！

ルイージ「大丈夫、兄さん？」

反応なし・・・

ルイージ「一回引っこ抜いてみよう。よいしょ、よいしょ」ズボツ
！「わつ！」

ルイージ「ん？あれ？何もない？」ヒュ――ズボツ！「ギャツ」

マリオ「あれ？ルイージの声が聞こえたのに？」

ゴジゴジゴ

マリオ「何だ！？地震か？」ゴジゴジズボツ「わつ」

ルイージ「埋まっていたんだよ」

マリオ「そうかそうかわかったよ。行こう！」

ルイージ「うん！向こうにクッパが落ちていったんだって」

マリオ「じゃああの建物を超えないければいけないな」

ルイージ「中に入つてみようよ」

マリオ「そうだな！」

建物の中

マリオ・ルイージ「あつ！」

？？？「あつマリオブレイザーズが来たぜ」

？？？2 「おーー」「ッキョージャンプしないと通れなーぜー！」

マリオ「するしかなによつだな」

ルイージ「そうだねー！」

プロス1「よしーくぜー！」

ピヨンー！ピヨンー！

ルイージ「わつ、足が引つかかった！」

ピヨンー！ピヨンー！ピヨンー！

プロス2「よしクリアのようだないジャンプだつたぜー！」

プロス1「その先を進めばマーリア王国だぜー！」

マリオ「ありがとよ」

ルイージ「じゃあねー！」

プロス「ちょっと待ちな

マリオ「なんだ？」

プロス「これを持って行ってくれ！」

マリオは地図をもらつた

プロス「地図の開け方はわかるよな？」

ルイージ「わかつてゐよ」

プロス「それならいいや氣をつけて行けよー！」

マリオ「ありがとな

チャレンジャー「カキヨージャンパー」(後書き)

いや～本氣でやるとレベルとコインが大量に・・・
田が（\$-\$）になるとこになつてしまつよ・・・

星ヶ原の軍曹（前書き）

マリオ「何ー？おかしなキャラが出るだといー？」

スマッシュコ「うん、そうだよ」

ルイージ「何やれるのやら・・・」

星ヶ原の軍曹

マリオたちの墜落地 星くずヶ原
その近くの城を越えたマリオとルイージ 地図をもじりに進んでいく

マリオ「いつたんこの上に行つてみるか！」

ルイージ「うん、そうだね！」

マリオとルイージが上るとそこには

マリオ「あれは！？」

ルイージ「そうだよ！？」

マリオ・ルイージ「クッパ！？」

マリオ「よし踏んで助けてやる」

ピヨンッコイン！コイン！クルッ！

マリオ「やつぱりクッパか・・・」

クッパ「お、マリオと縁のひげか、早く我輩を助けてくれ・・・」

ヒューードン！

？？？「ケケケケケケ！クッパであろうものが大砲の中へ、落つこ
ちるなんてなんてザマだい！！」

クッパ「キサマ、何者だあ！？」

？？？「ケケケケケケ！！わしは、この星くずヶ原の大魔王、ホッ
スイー様だ！お前の、噂は聞いているが大したこと、ないではない
か！ケケケケケケケ！」

クッパ「グオ――！」

ホッスイー「ケケケケケ！もし、そこから、出してほしかつたら、
ワシにコインを渡すんだな！コインを全部渡せば自由になれるゾ！
この恥ずかしい出来事も秘密にしておいてやるゾ！」

クッパ「・・・く、くやしいぞ・くやしいぞ・」

マリオ「おい！俺たちが持つてるコインを渡すぞ！」

マリオはホッスイーにコインを全部渡した

ホツスイー「ケケケケケケケケ！こりや、キノコ王国のキノココインじゃねえか！ここは、マーリア王国だぜ！外国のコインは両替しないとな！えー本日のかわせレートではキノココイン100枚はマーリアコイン10枚ナリ。たつたコイン10枚ならこの秘密をうつかりバラしちゃうかもナリ。ケケケ。・・・といふことで、マーリアコインをあと100枚！この、星くずケ原で集めてきたら、クッパを助けてやるー」ピョントードシーン！

マリオ一行くか！」

رِوَايَةُ

「マリオー、なんだ? また地震か?」

ウイーン

？？？「星かげ軍曹！さつきの流れ星はわが国を襲うエイリアンかも・・・ダ！われわれ星かげ兄弟の名にかけて何としても見つけ出すのダ！」

ルイージ「うんいいよ」

アーティ「アーティスト」

？？？ - 星かけ軍曹！正面に緑の物体が動いたであります
かるほー群かかな緑色でありますー

「うむ。」しかし、緑ではなく赤色である

！大至急、自分の目で確認するのだ！」

るドカンッ！

「おおーなんと! キノコ王国のマリオ殿ではないか!」

？？？「なんとこひらはルイージ殿！」

？？？「星かげ軍曹！は、早くサインをもう一つのダ！」

マリオ「ピーチ姫の美しい声が取られてしまいました」

星かげ軍曹（赤）「それはなんとしても声を、取り返さなければならん！われわれもなにか協力しようではないか！」

星かげ軍曹（緑）「では、われわれ、星かげ兄弟のブラザーアクションを、こいつそりと教えるあります！マリオ殿、ルイージ殿！スペシャルなブラザーアクションを今から、特訓するあります！」

マリオ「うけようじやないか！」

ルイージ「そうだね、僕たちの強さ見せつけよー！」

星かげ軍曹（緑）「高いところへジャンプしたい時は、ルイージ殿がマリオ殿を踏んづけるとハイジャンプになるで、あります。これで1人のジャンプより高くジャンプできるであります！」

ルイージ「やつてやるよー！」

星かげ軍曹（緑）「それではルイージ殿！今のハイジャンプをして右の段差に上がつてみるのダ！」

ルイージ「僕が兄さんの上に飛びジャンプして段差に上る！」

星かげ軍曹（緑）「よくできたであります！一人ではあがれない段差もこのハイジャンプを使えば上がれるであります！」

星かげ軍曹（赤）「今度は前と後ろを交代。マリオ殿を後ろになつて動きます。」ピヨン！

星かげ軍曹（赤）「こんな風に肩車するのダ。2人一緒にスピンしながらしばらく宙に浮くことができるのダ！浮いたまま移動が可能なのダ！このスピンジャンプを使えば幅の広い、谷や溝も飛び越えられるであります！実際にやつてみようではないか！」

マリオ「やつてみよう！」

星かげ軍曹（赤）「それではマリオ殿！今のスピンジャンプを使って右の足場まで移動してみるのダ！」

マリオ「ルイージと前後交代してルイージの上に俺が乗つてルイ

ジが回転ジャンプする。そして回転をこかして回りつまで進む…」

星かげ軍曹（赤）「お見事！」

星かげ軍曹（緑）「このように後ろの人に行うアクションをブラザーアクションといつであります！まさに兄弟でなければ出来ないアクションであります！」

星かげ軍曹（赤）「以上特訓終わりつ！」

星かげ軍曹（赤）「それでは特訓の成果を見せてもらおう…今教えたハイジャンプとスピンドルを使ってあそこにあるフラッグの所まで行ってみるのだ…」

・・・・・

星かげ軍曹（赤）「うむ…・…ですがマリオ殿ヒルイージ殿、スパーな兄弟である…」

星かげ軍曹（緑）「ハイジャンプとスピンドルを完璧にマスターしてあります！」

ピヨン！

星かげ軍曹（赤）「マリオ殿ヒルイージ殿の冒険の無事を祈つて」

星かげ軍曹「けーれつー！」

ウイーンがしゃ・・・

マリオ「さてブラザーアクション覚えたからコイン集め再開しようか…」

ルイージ「ブラザーアクションやつて忘れていたよ」

マリオ「じゃあ行こいつ…」

ルイージ「うん…」

？？？「マリオ殿、ルイージ殿！」

マリオ「？？？」

がしゃウイーン

星かげ軍曹（赤）「感激の再開なのだ！」

ウイーン

星かげ軍曹（縁）「じつは先ほどどうつかり言い忘れてたことがあります！」

七二

星かげ軍曹（赤）「フィールドで新しいアクションをマスターする
とバトルでも新しい攻撃ができるのダ！」

ナイン

「バトルでも新しい技が使えるあります！」

ウイーン

星がけ軍曹（赤）「さくそくバトルでその技を確認してみるのダ！」

バトル開始

ノルマニクル・アカシニ

星かげ軍曹（赤）「それではブラザーアタックの特訓開始っ！ブラザーアタックとはマリオ殿とルイージ殿が2人で攻撃する技なのダ！それではマリオ殿攻撃してみるのダ！」

マリオー行くぞルイージ!

ルイ・レーヴ

たたたピヨンパシックルツドカツ！」

（「これは次からは」「」の効果音を出しません）

星かげ軍曹（赤）「たまに2人の内どちらかがアクションアタックをひらめくかもしれないのにとにかく成功させるのダ！以上！ブラザーアタックの特訓終わり！」

星かげ軍曹（赤）「……ということで、フィールドでアクションを覚えたらバトルでも使ってみるであります！」

ピヨン！

星かげ軍曹（赤）「それでは今度こそマリオ殿とルイージ殿の冒険の無事を祈つて」

星かげ軍曹「けーれつ——！」

ウイーンガシャン

マリオ「どうどうーーー！」イン集まつたからさつきの所へ行け！」

ルイージ「うん……」

星ヶ原の軍曹（後書き）

今回はちやんとゲームをしながら書いていました。

マリオ「よい子のみんなは真似しないでね」

ルイージ「うとうと」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8071y/>

マリオ＆ルイージ1・2・3

2011年11月27日16時56分発行